

高等学校 令和8年度 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ G 組

教科担当者： A・B・D・F・G組：宮澤慧太 C・E組：新妻茂樹

使用教科書： 明解 歴史総合(帝国書院)

教科 歴史総合	の目標：
【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と その中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な 諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するととも に、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効 果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特 色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や 現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用 して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる 課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力 や、考察、構想したことを効果的に説明したり、そ れらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、より よい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決 しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的 な考察や深い理解を通して涵養される日本国民とし ての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国 の文化を尊重することの大切さについての自覚など を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	近代化と私たち 【知識及び技能】 各地の歴史の結びつきを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 結びつきのきっかけや実態を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	近代化と私たち 【知識及び技能】 日本の近代化について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ペリー来航から日露戦争に至る日本の 近代化の流れや実態を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2 学 期	国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 第一次世界大戦期までの国際秩序の変化 や大衆化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦期までの国際秩序の変化 や大衆化の流れや実態を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 第二次世界大戦期までの国際秩序の変化 や大衆化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦期までの国際秩序の変化 や大衆化の流れや実態を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3 学 期	グローバル化と私たち 【知識及び技能】 戦後・冷戦以降のグローバル化について 理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 戦後・冷戦以降のグローバル化について の流れや実態を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

地理歴史

科目 世界史探究

教 科： 地理歴史 科 目： 世界史探究 単位数： 4 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組

教科担当者：（ 楢 太郎、隅田 秀典）

使用教科書： 詳説世界史探究（山川出版社） ）

教科 地理歴史 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】

現代世界の地域的特色と世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国の歴史や文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史に関わる諸事象について、地理的条件や世界各地の文化と関連づけながら総合的にとらえて理解している。また、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	世界各地の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	世界各地の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	教科書第1～2章 【知識及び技能】 世界各地古代の形成過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各地の古代文明について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
	教科書第3～4章 【知識及び技能】 アジア各地の形成過程を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 様々なアジアについて多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
2 学 期	教科書第5～7章 【知識及び技能】 イスラム教や中世ヨーロッパの形成と展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の歴史や交流について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
	教科書第8～10章 【知識及び技能】 アジア各国の形成とヨーロッパの交流について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文化の交流について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
3 学 期	教科書第11～13章 【知識及び技能】 近世以降のヨーロッパやアメリカ大陸について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパとアメリカ大陸の関係について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
							合計
							140

高等学校 令和8年度 教科		公民科	科目 公共
教科：公民科	科目：公共	単位数：2	単位
対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組			
教科担当者：（A組～G組：木村克己）			
使用教科書：（帝国書院 高校生の公共）			
教科 公民科	の目標：		

【知識及び技能】	考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共	の目標：
【知識及び技能】	考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1部 第1～2章 【知識及び技能】 自らの体験や先哲の思想を通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解する。諸資料から必要な情報を読み取る力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 社会参画する自立した主体としての自己について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 社会参画する自立した主体についての自覚、公共空間における人間としての在り方生き方について自覚を深める。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 プリント提出 論述課題 ペアワーク・グループワークへの取り組み	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	第1部 第3章 【知識及び技能】 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保をともに関ることが、公共的な空間を作るうえで必要であることについて理解する。諸資料から必要な情報を読み取る力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本的原理について理解しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 プリント提出 論述課題 ペアワーク・グループワークへの取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	第2部 第1章 【知識及び技能】 日本国憲法の基本的性格と日本の政治機構について理解する。諸資料から必要な情報を読み取る力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 プリント提出 論述課題 ペアワーク・グループワークへの取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	第2部 第2章 【知識及び技能】 現代の経済社会および日本経済の特質と国民生活について理解する。諸資料から必要な情報を読み取る力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 プリント提出 論述課題 ペアワーク・グループワークへの取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	第2部 第2章 第3編 【知識及び技能】 国際政治・経済の動向と課題について理解する。諸資料から必要な情報を読み取る力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 プリント提出 論述課題 ペアワーク・グループワークへの取り組み	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
							合計 71

高等学校 令和8年度（2 学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教 科： 地理歴史 科 目： 日本史探究 単位数： 4 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ G 組

教科担当者：（昆野弘幸 新妻茂樹）

使用教科書： 詳説日本史探究（山川出版社）

教科 地理歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	原始・古代 【知識及び技能】 古代国家の形成過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古代国家について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
	中世 【知識及び技能】 武家社会の形成過程を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 武家社会について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
2 学 期	近世 【知識及び技能】 幕藩体制の形成と展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幕府統治を多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
	近代 【知識及び技能】 近代国家の形成と展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近代国家を多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
3 学 期	現代 【知識及び技能】 戦後日本の復興と変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 戦後日本の復興と変容を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
							合計
							140

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

地理歴史

科目 世界史演習Ⅱ

教科： 地理歴史 科目： 世界史演習Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ G 組

教科担当者：（ 楯 太郎）

使用教科書： 詳説世界史探究（山川出版社） ）

教科 地理歴史 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

現代世界の地域的特色と世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国の歴史や文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史に関わる諸事象について、地理的条件や世界各地の文化と関連づけながら総合的にとらえて理解している。また、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。大学入試に対応できる知識を身に付ける。	世界各地の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	世界各地の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	教科書第12～13章 【知識及び技能】 欧米各地の近代の動向を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 欧米各地について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	教科書第14～15章 【知識及び技能】 アジア諸地域と帝国主義時代を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 上記の歴史について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
2 学 期	教科書第16～19章 【知識及び技能】 現代社会の成立について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の歴史について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	共通テスト対策 【知識及び技能】 今までの知識を再確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 共通テスト独特の出題傾向を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期							
							合計
							62

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科		地理歴史	科目	日本史演習Ⅱ
教科：	地理歴史	科目：	日本史演習Ⅱ	単位数：2 単位
対象学年組：	第 3 学年 A 組～		G 組	
教科担当者：	昆野弘幸			
使用教科書：	詳説日本史探究（山川出版社）			
教科	地理歴史	の目標：		
【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。			
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。			
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			
科目	日本史演習Ⅱ	の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	原始～古代 【知識及び技能】 原始から古代の通史を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 古代史を多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・問題演習 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	中世 【知識及び技能】 中世の通史を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 中世について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・問題演習 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2 学期	近世 【知識及び技能】 近世の通史を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近世について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・問題演習 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	近代・現代 【知識及び技能】 近代から現代の通史を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近代から現代を多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・問題演習 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学期	テーマ史(外交史、文化史など) 【知識及び技能】 外交史や文化史を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 外交史や文化史を多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・問題演習 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和8年度 教科
教科： 公民科
対象学年組：第 3 学年 A 組～ G 組
教科担当者： (A組、G組：野呂 B～F組：菊池 (寿)
使用教科書： (東京書籍 政治・経済)
教科 公民科

公民科
科目 政治・経済
単位数： 2 単位

の目標：	
【知識及び技能】	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

科目 政治・経済	の目標：		
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 第2章 【知識及び技能】 ・現実社会の経済的な事象を通して理解を深めている。 ・現代日本の経済に関する諸資料から、必要な情報を適切に収集し課題の解決に向けて考察し、まとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・経済活動と福祉の向上との関連ならびに市場経済、財政、金融を通じた経済活動の活性化について、多面的・多角的に考察、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代の日本経済について、現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 プリント提出 論述課題 ペアワーク・グループワークへの取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	第1編 第3章 【知識及び技能】 ・日本の政治経済の課題につき考察、構想する際に必要な知識・情報を適切に収集しまとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・少子高齢社会における社会保障、中小企業の意義と課題、財政健全化などの実現について、政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとして、合意形成や社会参画に向かおうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 プリント提出 論述課題 ペアワーク・グループワークへの取り組み	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	第2編 第1～2章 【知識及び技能】 ・国際社会の変遷、国際法の意義、国連を始めとする国際機構の役割、軍縮と紛争防止、日本の国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・個人の尊厳と基本的人権の尊重に着目して国際法の果たす役割、国際平和につき多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代の国際政治につきよりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を解決しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 プリント提出 論述課題 ペアワーク・グループワークへの取り組み	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
	第2編 第3章 【知識及び技能】 ・現代の経済社会および日本経済の特質と国民生活について理解する。諸資料から必要な情報を読み取る力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 プリント提出 論述課題 ペアワーク・グループワークへの取り組み	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	第2編 第3章 【知識及び技能】 ・現代の経済社会および日本経済の特質と国民生活について理解する。諸資料から必要な情報を読み取る力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 プリント提出 論述課題 ペアワーク・グループワークへの取り組み	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
							合計 70

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科		地理歴史	科目	世界史演習Ⅰ
教 科：	地理歴史	科 目：	世界史演習Ⅰ	単位数： 3 単位
対象学年組：第 3 学年 A 組～ G 組				
教科担当者：（楢 太郎、隅田 秀典）				
使用教科書： 詳説世界史探究（山川出版社）				
教科	地理歴史	の目標：		
【知 識 及 び 技 能】		現代世界の地域的特色と世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】		地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。		
【学びに向かう力、人間性等】		地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国の歴史や文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。		
科目	世界史演習Ⅰ	の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史に関わる諸事象について、地理的条件や世界各地の文化と関連づけながら総合的にとらえて理解している。また、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。大学入試に対応できる知識を身に付ける。	世界各地の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	世界各地の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	教科書第11～12章 【知識及び技能】 欧米各地の近代の動向を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 欧米各地について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
	教科書第12～13章 【知識及び技能】 欧米各地の近代の動向を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 欧米各地のについて多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
2 学 期	教科書第14～15章 【知識及び技能】 アジア諸地域と帝国主義時代の展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の歴史や交流について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
	教科書第16～18章 【知識及び技能】 第一次世界大戦以降について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
3 学 期							
							合計
							90

高等学校 令和8年度（3学年用）教科			地理歴史	科目	日本史演習Ⅰ
教科：	地理歴史	科目：	日本史演習Ⅰ	単位数：	3 単位
対象学年組：	第 3 学年 A 組～		G 組		
教科担当者：	昆野弘幸 新妻茂樹				
使用教科書：	詳説日本史探究（山川出版社）				
教科	地理歴史	の目標：			
【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。				
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。				
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。				
科目	日本史演習Ⅰ	の目標：			

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	近世 【知識及び技能】 幕政の展開や改革を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幕政の展開について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	近代 【知識及び技能】 近代国家の成立を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 近代国家成立について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
2 学 期	近代 【知識及び技能】 近代国家の展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近代国家の展開を多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
	近代 【知識及び技能】 恐慌と第二次世界大戦を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 恐慌と大事に世界大戦を多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
3 学 期	現代 【知識及び技能】 戦後日本の復興と変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 戦後日本の復興と変容を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	定期考査 小テスト ノート提出 グループワークへの取り組み	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
							合計
							105

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元：地図と地理情報システム 【知識及び技能】 単元の内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の主題について考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 単元における課題を主体的に追究、解決する。	・指導事項：講義、ワーク、グループ学習 ・教材：プリント、資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単元の内容について理解している。 【思考・判断・表現】 単元の主題について考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元における課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
	単元：結び付きを深める現代世界 【知識及び技能】 単元の内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の主題について考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 単元における課題を主体的に追究、解決する。	・指導事項：講義、ワーク、グループ学習 ・教材：プリント、資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単元の内容について理解している。 【思考・判断・表現】 単元の主題について考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元における課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元：生活文化の多様性と国際理解① 【知識及び技能】 単元の内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の主題について考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 単元における課題を主体的に追究、解決する。	・指導事項：講義、ワーク、グループ学習 ・教材：プリント、資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単元の内容について理解している。 【思考・判断・表現】 単元の主題について考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元における課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○		○	8
	単元：生活文化の多様性と国際理解② 【知識及び技能】 単元の内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の主題について考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 単元における課題を主体的に追究、解決する。	・指導事項：講義、ワーク、グループ学習 ・教材：プリント、資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単元の内容について理解している。 【思考・判断・表現】 単元の主題について考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元における課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
2 学 期	単元：地球的課題と国際協力① 【知識及び技能】 単元の内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の主題について考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 単元における課題を主体的に追究、解決する。	・指導事項：講義、ワーク、グループ学習 ・教材：プリント、資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単元の内容について理解している。 【思考・判断・表現】 単元の主題について考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元における課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	単元：地球的課題と国際協力② 【知識及び技能】 単元の内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の主題について考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 単元における課題を主体的に追究、解決する。	・指導事項：講義、ワーク、グループ学習 ・教材：プリント、資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単元の内容について理解している。 【思考・判断・表現】 単元の主題について考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元における課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元：自然環境と防災 【知識及び技能】 単元の内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の主題について考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 単元における課題を主体的に追究、解決する。	・指導事項：講義、ワーク、グループ学習 ・教材：プリント、資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単元の内容について理解している。 【思考・判断・表現】 単元の主題について考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元における課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	単元：生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 単元の内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の主題について考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 単元における課題を主体的に追究、解決する。	・指導事項：講義、ワーク、グループ学習 ・教材：プリント、資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単元の内容について理解している。 【思考・判断・表現】 単元の主題について考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元における課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元：これまでの学習の振り返り 【知識及び技能】 単元の内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の主題について考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 単元における課題を主体的に追究、解決する。	・指導事項：講義、ワーク、グループ学習 ・教材：プリント、資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 単元の内容について理解している。 【思考・判断・表現】 単元の主題について考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元における課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	2
							合計 60